

○令和3年10月27日 経済委員会の審査を行いました。

県議会の各委員会では、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っておりますが、今回は、コロナ禍の状況を鑑みて、現地視察に代え、県議会の委員会室に、説明者を招き、取組内容について意見聴取する形で行いました。

経済委員会では、今年度のテーマを「企業立地の促進及び企業立地による地域活性化について」、「アフターコロナに向けた公共交通の維持・回復のための取組みについて」及び「農業の担い手確保策と農村地域の活性化について」と定めています。

まず、株式会社STNet（高松市春日町）から、データとデジタル技術を活用したDX（デジタル・トランスフォーメーション）及びこれからのデータ社会におけるデータセンターの役割と重要性についての説明を受け、質疑を行いました。



次に、琴参バス株式会社（丸亀市土器町）から、アフターコロナに向けた公共交通の維持・回復のための取組などについての説明を受け、質疑を行いました。



最後に、認定農業者の眞鍋倫明氏（丸亀市綾歌町）から、経営の概要、県外レストランへの直販や就農希望者の育成などの取組についての説明を受け、質疑を行いました。

